

日本観光研究学会 「観光研究」ならびに
「日本観光研究学会全国大会学術論文集」

*****執筆要項*****

「観光研究」ならびに「日本観光研究学会全国大会学術論文集」に投稿する日本語原稿は、以下の規定にしたがい作成する。英語原稿については、Writing Guidelinesにしたがって作成する。

(原稿書式)

1. 原稿の書式

原稿は下記の規定にしたがい学会ホームページ上のフォーマットを利用して作成する。

2. 行数・字数・余白・字体など

1 ページは、ヨコ 23 文字、タテ 43 行、2 段とする。余白は上 30 ミリ、下 23 ミリ、左右は 23 ミリ、段の間隔は 6 ミリとする。字体は原則として日本語の場合は明朝体、英語・数字の場合は Times New Roman を使用する。

(表題など)

3. 表題・副題・英文表題

表題は 14 ポイントで太字にする。副題がある場合は 12 ポイントとし、英文表題は 11 ポイントとする。なお、論文は、独立性を有し、完結性の高いものとするため、題目(副題を含む)に「その 1」、「その 2」などと付けることは認められない。

4. 著者名・ローマ字氏名

著者名・ローマ字氏名は 10 ポイントとする。著者名末尾には「*」を付ける。連名の場合も同様であるが、所属が異なる場合は「**」、「***」などとする。

5. 要約

5-1. 論文の場合

4 行以上 6 行以内の日本語要約と、「観光研究」投稿原稿のみ 6 行以上 8 行以内の英語要約を付ける。なお、掲載場所は書式フォーマット参照のこと。要約は 9 ポイントで、左右の行端は、本文の左右行端からそれぞれ 2 字分さげること。要約文の頭に、「要約」 「summary」の表記は必要ない。

5-2. 研究ノート・資料・調査報告、論説の場合

6 行以上 8 行以内の日本語要約を付ける。なお、掲載場所は書式フォーマット参照のこと。要約は 9 ポイントで、左右の行端は、本文の左右行端からそれぞれ 2 字分さげること。要約文の頭に、「要約」 「summary」の表記は必要ない。

6. キーワード

論文、研究ノート・資料・調査報告、論説の場合、3、4 語ほどのキーワードを下記の要領に従い 10 ポイントで記すこと。日本語キーワードには英訳、英語キーワードには日本語訳をつけること。なお行端は要約とそろえ、本文から左右 2 字分さげる。

なお、英語キーワードは固有名詞以外の語頭は小文字にすること。

例 日本語の場合

キーワード: 観光 (tourism)、観光対象 (tourist object)

7. 各表記の行間

表題と英文表題の間はあけない。英文表題と著者名の間は 1 行あけ、著者名とローマ字氏名の間はあけない。

論文、研究ノート・資料・調査報告、論説の場合、ローマ字氏名と要約、要約とキーワード、キーワードと本文の間はそれぞれ 1 行あける。それ以外の原稿は、ローマ字氏名と本文の間は 1 行開ける。

8. 所属の表記

所属は 1 ページ目下端部の 2 行分を用いて表記する。1 行は本文との境界線に使い、境界線下 1 行に 10 ポイントを用い、「*所属」の形で記すこと。連名で所属が異なる場合は、「**」、「***」とし、著者名の表記部分に付した*印と対応させる。所属は簡潔に記すこと。

(本文)

9. 本文の文字サイズ

本文には 10 ポイントを用いる。

10. 本文の章題等

本文の章題等は次のように統一する。これ以外の小項目はなるべく避ける。

章・・・ 1. 2. 3.

(数字は、全角・ゴシック体)

節・・・ (1) (2) (3)

(同、半角・ゴシック体)

項・・・ 1) 2) 3)

(同、半角・ゴシック体)

数字の後に半角スペースを置く。章題等の文字部分は全てゴシック体とする。章と章の間は一行あけること。

11. 図・表・写真

それぞれのサイズが1ページを超えないものとする。図・表・写真のレイアウトは、縦方向については、誌面の天地に割り付けること。記載の順に**図-1**、**表-1**、**写真-1**のように通し番号をつける。図および写真の場合は下に、表の場合には上に通し番号とタイトルをいれる。通し番号とタイトル文字はともに、原則としてゴシック体、10ポイントで表記し、センタリングして配置する。他の資料からの引用の場合は、出典を明記すること。

(補注、引用・参考文献、謝辞など)

12. 補注、引用・参考文献の見出し等

ゴシック体9ポイントで【補注】、【引用・参考文献】と表記し、次行から明朝体9ポイントで記す。本文末と補注の間、補注と引用・参考文献の間は1行あける。

13. 補注

補注は、本文の該当箇所の右肩に、(1)、(2)、(3) ... の記号で示し、本文末に一括して掲載する。脚注は用いない。

例 観光情報を収集して分析を加えた⁴⁾。

14. 引用・参考文献

引用・参考文献は、本文中の該当箇所の右肩に1)、2)、3) ... の記号で示し、本文末に一括して**引用順**に掲載する。

例 「楽しみを目的とする旅行」と定義されている^り。

引用・参考文献は以下の形式で記載する。引用・参考ページは、p.28 あるいは pp.105-112 のように表記する。引用・参考文献における日本語、英語以外の表記については、和訳、もしくは英訳を併記すること。

<単行本の場合>

- 1) 著者名(公刊西暦年号): 書名, 発行所, 引用・参考ページ

例 前田勇(1995): 観光とサービスの心理学, 学文社, p.215

- 2) 著者名(公刊西暦年号): 論文名(編著者名『書名』, 発行所), 引用・参考ページ

例 小谷達男(1974): 観光と地域開発(鈴木忠義『現代観光論』, 有斐閣), pp.209-212

<雑誌の場合>

- 3) 著者名(公刊西暦年号): 論文名, 掲載雑誌名, 巻(号), 引用・参考ページ

例 鈴木忠義(1987): 観光学を求めて, 観光研究, 1(1), pp.2-5

<インターネット上の情報の場合>

- 4) 著者名: ウェブページタイトル, 言語の表示, アドレス(URL), 入手日付

例 観光庁: 旅行業の状況, 日本語,

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/jyoukyou.html>, 2012.3.5

<新聞記事の場合>

- 5) 記事執筆者名: 記事のタイトル, 収録新聞名, 朝刊/夕刊の別, 発行年月日, 掲載面

例 日本経済新聞: 図書館の本コンビニで貸出, 日本経済新聞, 2003年2月20日朝刊, p.21

欧文引用・参考文献

<単行本の場合>

- 6) 著者のファミリーネーム, ファーストネーム(公刊西暦年号): タイトル: サブタイトル, 出版都市, 出版社, 引用・参考ページ

例 Urry, John(1990): The Tourist Gaze: Leisure and Travel in Contemporary Societies, London, Sage Publications, pp.105-112

<雑誌の場合>

- 7) 著者のファミリーネーム, ファーストネーム(公刊西暦年号): 論文のタイトル, 雑誌名(イタリック体), 巻(号), 引用・参考ページ

例 Uzzell, David(1984): An Alternative Structuralist Approach to the Psychology of Tourism Marketing, *Annals of Tourism Research*, 11(1), pp.79-99

15. 謝辞、付記

必要がある場合は、本文末と補注の間に前後それぞれ1行あけて謝辞：、あるいは付記：とゴシック体9ポイントで表記し、その後に明朝体9ポイントで記すこと。なお、謝辞と付記の併記は避け、どちらかを選択すること。

(PDF ファイル作成に関連した注意事項)

受理された原稿は、J-STAGE 上で PDF ファイル形式により公開されるため、原稿作成時には下記に注意すること。

16. PDF ファイルサイズ

高解像度の写真や図表を掲載することも可能であるが、PDF ファイルに変換した場合、概ね 3MB 以下になるよう解像度 (600dpi 以下) を心掛けること。その場合、PDF のバージョンは PDF1.4 とすること。

17. フォントについて

閲覧者の環境に左右されることなく、論文の文字表示が確実にできるようにするため、機種依存文字、外字フォントの使用は極力避けること。なお、代表的な機種依存文字等は下記のようなものがある。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲ I II III IV V VI VII VIII IX X
キリシ字 フォント 特殊文字 フォント 特殊文字 mncmkmmkgcccm 平仮 〃 No.K.K.Tel
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲ Σ √ ∟ ∠ ∟ ∠ ∴ ∩ ∪
i ii iii iv v vi vii viii ix x ー ！

。「」・フアイエオヤヨウーアウエオカクコサシセノ
カタツトナニスナヒフホマミムメヤヨラルロワノ°

以上

2012年3月5日決定
2015年7月31日改訂
2017年4月1日改訂
2020年10月1日改訂